横浜市立釜利谷中学校第２学年だより　　４月２６日号　ＮＯ・２

HOP STEP JUMP

つゝじ咲て片山里の飯白し

～与謝蕪村（よさぶそん）～

【躑躅（ツツジ）】　野や庭に咲き溢れる紅、白、絞りなどの花。
　へんぴで寂しい山里でも、躑躅が満開の時であれば、賑やかで華やかな昼餉（ひるげ）となる。躑躅の燃えるような紅に、米の飯がますます白く輝くようだ。
～「夏井いつきの３６５日季語手帖」より～

桜の花の季節が終わったと思ったら、至る所で美しく咲くつつじの花を見かけるようになりました。今日までの予定で行っている家庭訪問では、生徒の皆さんに道案内をしてもらいながら、道路脇や公園、お庭に咲いている紅やピンク、白などのつつじを見て、季節の移ろいをしみじみと感じました。

この句では、真っ赤なつつじとご飯の白さの、色の対比が非常に鮮やかに表現されています。作者の与謝蕪村は、写実的で絵画的な句を得意とした江戸時代を代表する俳人ですが、まざまざとその情景が浮かんでくる俳句です。新学期が始まって約１ヶ月…疲労もピークに達しているのではないでしょうか。明日からの１０連休では、美しい自然を楽しむ余裕をもちながら、ちょっとはのんびりして、心と体のリフレッシュをしましょう。

【５月の予定】

５月　７日（火）歯科検診（２年）
　　８日（水）午前中授業（弁当なし）
　　９日（木）ＰＴＡ実行委員会
　１０日（金）部活動説明会・教育課程説明会
　１３日（月）体育大会学年練習（３、４校時）
　１５日（水）市中学校総合体育大会開会式、尿検査一次
　１６日（木）専門委員会（体育大会準備）
　１７日（金）体育大会（予備日…２１日、２４日）
　２０日（月）朝会
　２３日（木）専門委員会（定例）
　２８日（火）内科検診（２年）、生徒委員会、尿検査二次
　３１日（金）開校記念日、ＰＴＡ総会

先輩として…

新学期が始まって２日目の４月８日（月）に対面式が行われました。先輩と後輩の初めての顔合わせの式です。そこで、生徒会本部副会長の五十嵐正浩さんが、温かい心のこもった「歓迎の言葉」を述べてくれました。その全文を紹介します。２年生に進級して、いろいろな場面で上級生として、先輩としての立ち居振る舞いが求められる立場となりました。一年前に中学校に入学した頃の期待や不安でどきどきしていた頃のことを思い出して、１年生をサポートできる存在になれるとよいですね。

春の訪れと共に、釜利谷中学校へ入学してきた新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、みなさんと会える日を楽しみに待っていました。みなさんは期待と不安を胸にこの釜利谷中学校へ入学してきたことと思います。そして、皆さんの中には勉強についていくことが出来るのか、中学校の雰囲気になじんでいくことが出来るのかなど多くの不安がある人もいると思います。確かに、勉強面で数学ではマイナスがつく数字がでてきたり、国語では、新しい漢字を習ったりします。英語も本格的に始まり、小学校で習っていた図工も美術へと変化します。また、生活面では学校生活の時程が小学校と比べて大きく変わり、たくさん戸惑ったり、困ったりするときもあると思います。しかし、心配する必要はありません。ここにいる二、三年生の先輩や釜利谷中学校の先生方が支えて下さいます。いつでも気軽に相談して下さい。

それに加え、この釜利谷中学校では楽しい行事がたくさん待っています。まず、中学校生活初めての行事となる体育大会。体育大会では、個人競技やクラス対抗の競技などでクラスの仲間と協力しあい、応援しあいながらクラスや学年の絆を深めていって下さい。クラス対抗競技の一つでもある大縄では、クラス全員で同じ一つの縄を跳び、最高記録を目指すことでクラスの団結力がより深まっていくと思います。

続いて、二回目の行事となる文歌祭。釜利谷中学校の文歌祭の「か」という字は化けるという漢字ではなく歌という漢字になっています。文歌祭では、クラスで一曲合唱する歌を決め、パートリーダーを中心に練習していきます。当日は、横須賀芸術劇場という所で各クラスが練習した成果を発揮し、一生懸命歌います。みなさんが創り上げる美しいハーモニーも楽しみにしています。みなさんにとって、各クラスで歌った達成感や楽しさは胸に刻まれる大きな思い出になると思います。

そして、三月になると一年生も最後のシーズンとなり、そこでは百人一首大会と球技大会が待っています。百人一首大会では、国語の授業で学習する百人一首を生かして、他のクラスのチームと試合をします。そこでは、残り一ヶ月程のクラスのメンバーと共に優勝目指して、白熱した試合を行いながら、更に今まで築き上げた絆や団結力を強いものにしてくれると思います。球技大会では、大会に向けて体育の授業で練習したことを生かし、クラス一丸となって取り組むことでスポーツの楽しさを味わっていくことができます。また、他にも校外学習などがあり、二年生では職業体験、三年生では修学旅行などたくさんの行事がまっています。

そして、中学校では新しく部活動というものが始まります。部活では、文化部・運動部共に個々の能力を高めていくことができ、先輩との交流の場にもなると思います。現在、この部活に入ろうかなと決めている人や悩んでいる人など様々な人がいると思います。今後、部活動説明会や部活動の仮入部なども始まるので、そこで自分にあった部活動を見つけてみて下さい。

これからの中学校生活の上でいろいろな困難がまっていると思います。そんな時には、いつでも先輩たちに相談して、頼って下さい。しかし、失敗を恐れず、その困難に自分で立ち向かって、解決し、やりとげていくことも大切です。新入生のみなさん、みなさんはもう釜利谷中学校の一員です。この釜利谷中学校で多くのことを学び、失敗を恐れずに多くのことに挑戦して、たくさんの経験をしていくことで、とても充実した中学校生活の日々を送っていって下さい。

在校生代表　五十嵐正浩

Let's enjoy Tokyo
～学び合い、そして最高の学年へ～

６月４日（火）に実施予定の校外学習に向けて、準備が始まっています。まずは、スローガンが決まりました。「Let's enjoy Tokyo～学び合い、そして最高の学年へ～」です。校外学習の目的は、

①班別行動を通して、自主的に行動する力や協調性、問題解決能力を身につける。
②環境問題について課題を認識し、解決方法について主体的、協働的に考える。
③修学旅行を視野に入れ、羽田空港までの行き方や施設の見学を通して、社会のルールやマナーを学ぶ。

の３つです。活動場所が東京方面（羽田、お台場地区）ということで、このスローガンになりました。３年間の校外学習の集大成である修学旅行に向けて、しっかりと学習を積み重ねていきましょう。

＜保護者の皆さまへ＞

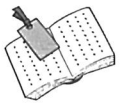
昨日４月２５日付で「第２学年校外学習のお知らせ」「校外学習費用のお支払いについて」「封筒」の３点を、生徒の皆さんを通して配布しました。

●参加承諾書……提出期限　５月８日（水）まで
※緊急連絡先の記入と捺印をお願いします。

●校外学習費用……納入日　５月８日（水）
※２５００円を封筒に入れて担任に提出してください。

お手数ですが、よろしくお願いいたします。

私のおすすめの一冊①
「岳物語」椎名誠（集英社文庫）



作者の息子、岳少年のユーモアに満ちたエピソードを描いた連作小説です。たくましく自立心旺盛な岳少年と、彼を見守る「シーナおとう」。親子でありながら、男同士の友情物語でもあるこの物語は、温かくほのぼのした気持ちになります。作者の椎名誠さんは、今国語の授業で学習している「アイスプラネット」を書いた人で、小説を書く傍（かたわ）ら、冒険家としても活躍しています。保護者の皆さまにもお勧めです。ぜひ読んでみてください。釜利谷中学校の図書館にもあります。（樋渡　利佳）

★いろいろな世界を疑似体験できるところが、読書の大きな魅力でもあります。読書を通じて心を豊かにしていってほしいと願い、今年は学年職員の「おすすめの一冊」をシリーズで紹介していきます。次回は、１組担任の満田先生です。